

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ  41 号

2018年7月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

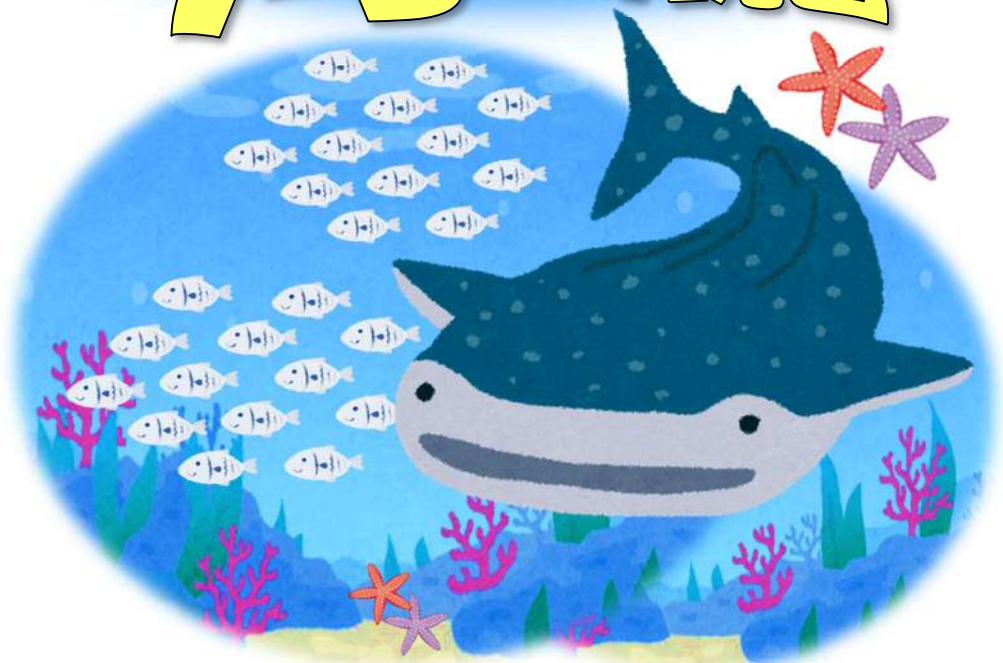
FAX 048-884-5500

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード



海ヲ読ム



『県庁おもてなし課』

ありかわ ひろ
有川 浩 作 角川書店 2011年



ある年、高知県の観光を盛り立てようと県庁に「おもてなし課」が発足した。ところが、民間よりも時間を悠長に使うといった「お役所感覚」がしみついた課の職員・掛水史貴たち。そんな彼らに、観光特使となった高知出身の有名作家・吉門 喬介はダメ出しを連発するのだった。

「民間感覚」を取り入れるため、県庁に因縁のある観光アドバイザー・清遠和政、アルバイト職員の明神多紀、それに吉門がおもてなし課とタッグを組む。海、山、川、空—高知にあるそれらをプロデュースする、「高知県まるごとレジャーランド化計画」が始動した！

『海の神話』

ときた ゆうすけ
朱鷺田 祐介 編著 新紀元社 2006年



古より語り継がれてきた神話は、現代でも漫画や映画などに登場します。人の心に影響を与え続ける神話。しかし、本当の姿をどれだけ知っていますか？世界中にある神話の中でも海にまつわるものを集めた本書。日本でも有名なギリシア神話の海神・ポセイドンにまつわる話はもちろん、浦島太郎の元になった記紀神話、人工神話の代名詞ともいえるクトゥルフ神話までも紹介します。はじめから読むもよし、漫画の元ネタを探るもよし。神話の世界に浸ってみませんか？

『深海生物の「なぜそうなった？」がわかる本』

きたむら ゆういち
北村 雄一 作 秀和システム 2017年

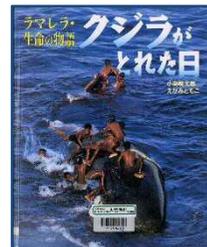


厚さ200mの水は、光の99%を吸収してしまう。そんな厚い水の下の暗闇の世界、深海と呼ばれる場所で暮らす生物は、不思議な姿形と生態をしている。例えば、体が光るホタルイカと目の下を光らせる細長い体をしたミツマタヤリウオ。光の届かない世界で彼らは何故光るのか。それぞれ理由は違う。

多様な深海生物の「なぜそうなったのか？」を、水深ごとに写真やイラストで丁寧に解説。深海で暮らす上での合理性を追求した彼らの生き方をご紹介します。

『クジラがとれた日』

こじま こうたろう
小島 曠太郎・えがみ ともこ 作 ポプラ社 2001年

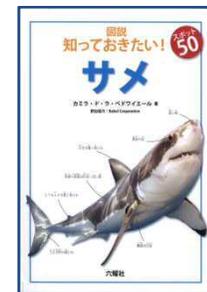


インドネシアのレンバタ島にあるラマレラ村、そこにはクジラをとって生きる人々がいる。マッコウクジラの潮吹きが見えると、彼らは次々と船を海に出す。手漕ぎの船の先端に立つのはラマファと呼ばれるモリ打ちだ。ラマファがクジラめがけて飛び、モリを打ったその瞬間から、命がけの熱く長い闘いが始まる。

400年も前から続くこの漁法は、クジラとの約束事。昔からのやりかたで相手に敬意を払ったときに、クジラは生命を差しだしてくれる。そして闘いのあとは、村が食べていけるといふ喜び、村で一番幸せな日が待っているのだ。

『サメ』

りくよう
カミラ・ド・ラ・ベドワイエール 作 六耀社 2016年



サメをイメージしてください。大きかったり、獺猛だったりしませんか？それは間違いではありません。しかし、成長しても30cmほどのサメもいれば、ゆっくり泳ぎながらプランクトンを食べるサメもいます。だってサメだけで約400種もいるのですから。

サメはただの肉食魚ではありません。サメの骨格は軟骨というやわらかい物質でできています。さらに、魚なのに多くのサメは子どもを産みます。そんなサメたちの生態と多様さの一端をご覧ください。

『老人と海 改版』

ふるた つねあり
アーネスト・ヘミングウェイ 作 福田 恒存 訳 新潮文庫 1980年



老人は、小さな帆かけ舟でメキシコ沖に出て、一本釣りで魚をとって暮らしていた。1匹も釣れない日が84日もつづいたある日、1人沖に出た彼の針に、想像を絶する巨大なカジキマグロが食いつく。1対1の死闘は4日にわたり、ついに老人は獲物を仕留めた。しかし、帰途には別の困難が待ち受けていたのである。

リズムカルでシンプルな文体が特徴の、ノーベル文学賞受賞作家によるアメリカ文学の名作。



「Enjoy the sea!」



「死ぬまでに絶対行きたい
世界の楽園リゾート」

みよし かずよし
三好 和義 作

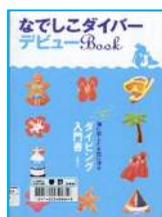
PHP研究所 2013年



「浜辺のコレクション」

はまくち てついち いけだ ひとし
浜口 哲一・池田 等 作

フレーベル館 2000年



「なでしこダイバー
デビューBook」

いとう ひろこ
伊藤 博子 作

マリン企画 2007年

イチ押し 『死ぬまでに絶対行きたい世界の楽園リゾート』



世界の楽園を求めて旅をする写真家・三好氏が、実際に体験した極上リゾートの情報を収録した本書。バカンスを楽しむための準備や観光すべきポイントはもちろん、「動物」や「世界遺産」といった特定のテーマを楽しめるリゾートも紹介されています。

この本を読んで、あなたが絶対行きたい楽園リゾートを探してみませんか？



次回
予告

はぴ42号(10月発行)のテーマは **きく**

「第5回 ビブリオバトル はぴの陣」7月27日(金)開催!

このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円(概算)です。

